

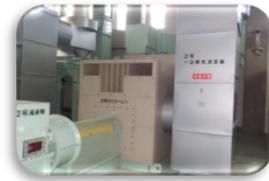


大沢川排水機場視察



大沢川排水機場（ポンパル）に由利本荘市・由利本荘市議会議員の方々が視察に訪れました。ゲートの仕組みや役割などを確認し、施設内の設備を見て回りました。

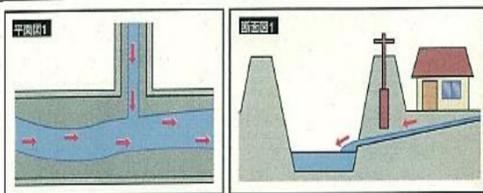
大沢川は流域面積2.76km²、流路延長3.2kmの一級河川で、由利本荘市の中心市街地を流れる幹線水路です。このような水路等の水があふれることで発生する水害を内水被害といいます。このような内水被害を解消すべく設置されたのが大沢川排水機場です。また、この大沢川排水機場は地域の方々に親しんでいただくべく『ポンパル』という愛称がつけられています。



◆大沢川の内水被害はどのようにして起きるの？

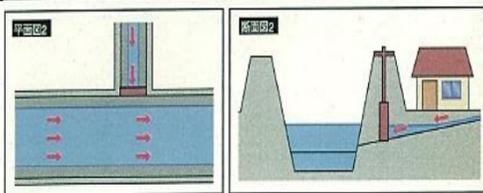
1 普段の子吉川と大沢川は…

大沢川の水は水門（大沢川樋門）を通過して子吉川に流れ込みます。普段は子吉川の方が水位が低いので排水に問題はありません。



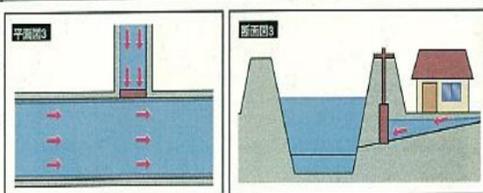
2 子吉川が増水すると…

大雨が降って子吉川の水位が上昇。このままでは子吉川の水が排水口から流れ込んでくるので水門を閉めることにします。これで子吉川の洪水に関してはひと安心。



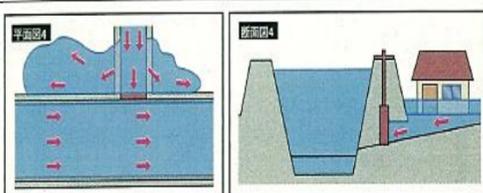
3 すると大沢川の水は…

一方、水門を閉められた大沢川の水はどこにも排水されません。大雨で大沢川も増水しています。水は、行き場を失って堤防の内側に溜まるいっぽうです。



4 そして…

溜まり続けた大沢川の水がついにあふれてしまいました。上流からはどんどん水が流れてきます。しかも子吉川の水位が下がるまで水門を開けることはできません。



◆内水被害を解消するにはどんな方法があるの？

このような内水被害を解消するには次のような方法が考えられます。1) は街の地盤そのものを高くしてしまう方法です。確実な方法ですが、大規模な工事になるため家が密集する市街地での実現は極めて困難といえます。2) は堤防の内側に溜まる水を堤防の外、つまり子吉川へポンプでくみ出す方法です。施設の用地が必要となり、また維持管理のための費用も掛かります。3) は街の建築物を高床式にするなど、浸水しても被害を受けない構造にする方法です。この方法は、浸水をなくすのではなく、被害を軽くするための方法で、他に方法がない場合の手段といえます。

本荘・大沢川地区では、川の条件、洪水の状況、街の様子などを考慮し、2)の排水ポンプによる方法を採用することになりました。

大沢川排水機場の排水量は、1秒間に6m³の排水が可能なものとなりました。この排水量は、一般家庭用の風呂おけ約20杯ぶんの水をわずか1秒で排水することができる量です。

◆これにより内水被害は大幅に解消されます。

★ハッピーハロウィン★



「お菓子をくれなきゃ、いたずらしちゃうぞ」と、石脇西保育園の園児たちが出張所を訪れました。

いたずらをされないように所長がお菓子を渡すと、マントを羽織り仮装した園児たちは「ありがとうございます！」と、「にっこにこ！」(^o^)ごきげんで出張所をあとにしました。

昨年は中止だったハロウィンイベントでしたが、今年は元気な子ども達に会うことができました！いつもは静かな通りにもぎやかに♪出張所も「にっこにこ笑顔」いただきました(^o^)！



◆インターネットで「雨量データ」「水位データ」等を提供しています
《アクセスはこちら》
◇パソコンから→<http://www.river.go.jp/>
◇スマホなど→『川の防災情報』で検索

◎ご意見・問い合わせ先 子吉川出張所 『せせらぎ通信』担当
由利本荘市石脇字田尻29 電話 0184-22-6360
ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/akita/>
【秋田道川情報STATION⇒(上部タグ)事務所⇒出張所ホームページ⇒子吉川出張所】
または「子吉川出張所」で検索⇒ようこそ！子吉川出張所ホームページへ！をクリック